様式 501

**グローバル補助金事業計画書**

国際ロータリー第2790地区

グローバル補助金小委員会（地区ＤＤＦ申請書添付資料）

2016－17年度以降実施 プロジェクト用

申請者

|  |  |
| --- | --- |
| ロータリークラブ名 |  |
| プロジェクト名 |  |
| 実施場所 |  |
| 実施期間（西暦） | ２０１６年　月　　日〜２０１７年　　月　　日 |

Ⅰ 最初のステップ

１. グローバル補助金の活動名

２. 代表連絡担当者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 | クラブ | 役　割 | 実施国/援助国　提唱者 |
|  |  | 代表連絡担当者 | 実施国側代表連絡担当者 |
|  |  | 代表連絡担当者 | 援助国側代表連絡担当者 |

３. 補助金委員会委員

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | クラブ | 役割 |
|  |  | 実施国側連絡担当者 |
|  |  | 〃 |
|  |  | 〃 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | クラブ | 役割 |
|  |  | 援助国側連絡担当者 |
|  |  | 〃 |
|  |  | 〃 |

Ⅱ 目　的 １ このグローバル補助金活動の目的について、短い２、３文でご説明ください。

２ このグローバル補助金によって誰が恩恵を受けますか。直接受益者の推定数も入力してください。

３ このグローバル補助金は、以下のどの活動を支援するものですか(該当するものすべてを選択してください)。

４ このプロジェクトはどこで実施されますか。

地域社会(コミュニティ)：

市町村：

　国：

５ このプロジェクトはいつ実施される予定ですか。

開始日：

終了日：

Ⅲ 持続可能性

１　このプロジェクトは地域社会のどのようなニーズに取り組みますか。また、そのニーズはどのようにして特定されたものですか。関連するデータまたは調査結果も併せてご記入ください。

２　このプロジェクトは、それらの地域社会のニーズにどのようにして取り組みますか。詳細にご説明ください。

３　地域社会の人々は、このプロジェクトの計画にどのようにかかわりましたか。このプロジェクトは、現在行 われている地元の取り組みと一致したものですか。

４　このグローバル補助金で行われる研修、地域社会の啓蒙活動、教育プログラムについてご説明ください(該当 する場合)。これらは誰が実施しますか。研修。啓蒙・教育プログラムの参加者はどのように選ばれましたか。

Ⅳ 重点分野

１　重点分野(該当するもの全てを選択してください)

２　どの目標を支援するものですか。

３　これらの目標をどのように満たしますか。

４　活動の成果をどのように測りますか。

　留意事項：グローバル補助金提唱者は、最終報告書で直接受益者の合計数を報告するよう求められます。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 評価基準 | 測定方法 | 測定頻度 | 目標 |
|  |  |  |  |  |

５　モニタリングと評価のための情報の収集は、誰が担当しますか。

Ⅴ 参加者

１　代表連絡担当者　⇒　最初のステップの通り

２　委員会委員　　　⇒　最初のステップの通り

３　プロジェクトから利益を得る可能性のあるロータリアン(例えば、ロータリアンが協力団体の職員や役員、 物資を購入する店や事業の経営者、奨学生が通う大学の理事である場合など)は、委員となることができませ ん。こうした利害の対立の可能性はすべて、ここで開示してください。

４　協力団体

　協力団体は、専門知識、インフラストラクチャー、アドボカシー活動、研修、教育、その他の補助金プログラムへの支援を提供する、ロータリアン以外の定評ある組織または教育機関を指します。

このプロジェクトに参加している協力団体を入力してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 名称 | ウェブサイト | 番地 | 市町村 | 国 |
|  |  |  |  |  |  |

５　代表提唱者と協力団体の間で交わされた「覚書(「ＭＯＵ」)をＰＤＦ形式でアップロードしてください。

６　この団体を選んだ際のプロセスをご説明ください。この団体が持つどのようなリソースや専門知識が役立 ちますか。

７　その他の協力者 　そのほかに、このプロジェクトに参加する協力者とその責務を入力してください。これには、（代表提唱 者以外の）ロータリー・クラブ、ローターアクト・クラブ、ロータリー地域社会共同体(ＲＣＣ)、ならびに 個人が含まれます。

８　旅行するボランティア 　人道的プロジェクトの一環として、ボランティアの海外渡航が最高２名まで認められています。これらの 人は、研修を提供する目的、またはプロジェクトを実施する目的で渡航するものであり、その人の持つスキ ルが現地では得られないことを実施国側提唱者が確認することが条件となります。 　このグローバル補助金で海外渡航するロータリアンまたはロータリアン以外の参加者を入力してください。

９　ロータリアンの参加

この活動で実施国側のロータリアンが担う役割と責務を説明してください。

　この活動で援助国側のロータリアンが担う役割と責務を説明してください。

10　持続可能性

　このプロジェクトの実施において地元地域社会の人々が担う役割を説明してください。地元の人々の参加 を促すために、どのような奨励（インセンティブ)方法を用いますか(例：報酬、賞の授与、修了証、助成など)。

地元地域社会において、成果のモニタリングと活動の継続の監督を誰が担当することになりますか。また、 この人物かリーダーの役割を遂行できるようにどのような支援を提供しますか。

11 予算 　予算で用いる現地通貨を選択し、１米ドルあたりの為替レート(現在のレート)を入力してください。現在の ＲＩ為替レートはロータリーのウェブサイトでご確認いただけます。ＲＩ公式為替レートに記載されていない 通貨については、OandaまたはBloombergのウェブサイトで為替レートを調べてください。 　予算を追加して、活動経費の詳細を入力してください。予算総額は、調達資金の

総額と一致していなければ ならないことにご留意ください。

現地通貨：　　為替レート：

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 内容 | 業者 | カテゴリー | 費用（） | 費用（米ドル） |
| 1 |  |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |  |
| 4 |  |  |  |  |  |
| 5 |  |  |  |  |  |
| 6 |  |  |  |  |  |
| 7 |  |  |  |  |  |
| 8 |  |  |  |  |  |
| 9 |  |  |  |  |  |
| 10 |  |  |  |  |  |
| 予算の総額 | | | |  |  |

　予算に含まれている物品やサービスを選んだプロセスについてご説明ください。現地の業者から見積もりを取りよせ、入札プロセスを行いましたか。これらの予算品目は、現地の文化やテクノロジーの水準に見合っていますか。

　受益者は、これらの品目をどのように維持・管理しますか。(該当する場合)交換部品やスペアが現地で入 手可能である事、および機材を使用するスキルが受益者に備わっていることを以下にご記入ください。

　　補助金で購入した品(機材、財産、資料など)は。プロジェクト後に誰が所有することになりますか。これ らの品はロータリー・クラブまたはロータリアンが所有出来ないことにご留意ください。

Ⅶ 調達資金

　グローバル補助金は、国際財団活動資金(ＷＦ)によって財団から配分されるもので、支給幅は15.000～20万 米ドルとなります。財団は、現金拠出に対しては50パーセント（半額）、地区財団活動資金（ＤＤＦ）の寄贈 に対しては 100パーセント(同額)を上乗せして支給します。補助金に対するロータリアン以外からの寄付に50パーセントの上乗せ資金が提供されます、ただし、この寄付はプロジェクトの協力団体や受益者の協力団体や受益以外から寄せられたものであることが条件です。

　この補助金プログラムへのＷＦ上乗せ額を計算するには、すべての調達資金を入力し、それらが現金、ＤＤＦ、そ の他のいずれであるかを選択してください。調達資金の合計額は、活動予算と一致していなけばなりません。

　調達資金とＷＦ申請額を入力した後、「保存」をクリックして必ず情報を保存してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 調達資金 | 組織 | 金額（米ドル） |
| 1 | クラブからの現金 |  |  |
| 2 | クラブからの現金 |  |  |
| 3 | DDF |  |  |
| 4 | クラブからの現金 |  |  |
| 5 | DDF |  |  |
| 6 | クラブからの現金 |  |  |

DDFの寄贈

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　現金拠出

WF上乗せ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　調達資金の合計

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　予算の総額

Ⅷ 持続可能性

　プロジェクトで長期的な成果をもたらせるよう、地元に財源があることを確認しましたか。または、継続的に資 金を確保する方法を計画していますか。

ロータリー・クラブ会長及び会長エレクトとして、上記の通りグローバル補助金事業を計画しましたので、計画書を提出します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| クラブ会長 | | 会長エレクト | |
| 就任年度 |  | 就任年度 |  |
| 氏　　名 |  | 氏　　名 |  |
| 署　　名 |  | 署　　名 |  |
| 日　　付 |  | 日　　付 |  |

国際ロータリー第2790地区

グローバル補助金小委員長　大倉　崇　様

　　　　　　　　　委員　　時田　清次様